

研究者氏名：勝崎 芳雄

調査・活動テーマ：地域資源を活かしたまちの活性化と地域への取り組み

調査・活動の目的

- ・岡田の歴史ある古民家の実態調査を行い、古民家の活用方法を探る。
- ・価値ある歴史的建造物を市民や外部の人に認識してもらう
- ・コミュニティでの交流・コミュニケーションをより良くする

調査や活動の取組内容および達成状況・成果内容

- 4月8日（日）“着物を着て岡田の古い街並みを歩こう”
着物の似合う街を市内外の人に認識（再認識）してもらうことができた。
- 4月15日（日）“岡田の歴史と国の登録有形文化財”展：古民家・雅休邸
岡田春祭りに合わせ、祭りの合間におもてなしをしながら、不特定多数の人（子供からお年寄りまで、に岡田の宝物を知ってもらうことができた。
- 5月3日（日）“端午の節句展”主催
2つの節句実行委員会
～5日（土）（岡田を知ろう会、岡田ゆめみたい、岡田子供会）を立ち上げ地域団体の交流と地域住民（特に家族間の交流）の場を広げることができた。
- 5月22日（火）地域講演会“7つの失敗と地域の成功につなげる習慣の改善”
「岡田ゆめみたい」の会員のみならず、地域住民に呼びかけ、地域ぐるみの講演会ができた。
- 6月9日（土）鳥取県大山町訪問“地ビールフェスタ”と若者の町おこしのグループとの交流と

～10日（日）古い街並み再開発地の見学
岡田をこよなく愛する若者たち OKD（30～40代）をこの見学会で知ることができた。

7月8日（日）“岡田街並みフェスティバル”
これまでは「岡田街並保存会」単独の主催で行われてきたが、さらに活性化するために「岡田ゆめみたい」も加わりさらには観光協会の支援を得ることができ、多彩なイベント開催ができ、特に市街からの来訪者が増え、盛大な催しになった。

8月4日（土）“第10回岡田三世代雅休邸塾”
～5日（日）毎年恒例で始めてすでに10年を迎え、今年もリピーターいるほど、人気のイベントになりました。岡田のまちの良さ、大人たちとのコミュニケーションの体験の場として、記憶に残ると思います。この子供たちが大人になった時にも、地元愛を持ち続けて欲しいと思います。

9月30日（土）平成30年度知多市ボランティアセンターのボランティア活動資金を得ることができ、国の登録有形文化財建造物が4件になったのを機に、4物件のスタンプを作成しました。スタンプは今後、街並みウォーキングラリーの際に使用できるよう準備しました。今後、岡田に来られた記念に手ぬぐい等にも、スタンプをできるようにしていく予定です。

10月1日（月）“岡田なごやかサロン1周年フェスタ”の開催

「岡田ゆめみたい」が知多市から依頼され開催した高齢者のサロンで、開催1周年を迎え、利用者のみならず一般の人もお呼びし、盛大に開催でき、サロンの存在を市民に知ってもらうことができました。

11月3日(土) “まちづくりセンターまつり”

～4日(日) 最近作品等の発表者が少なく、会場が空いてしまう傾向にあり、今年も講座室を全室使うことになりました。今年“岡田ゆめみたい”の活動紹介と会員の作品を紹介しましたが、来場者も多く広く市民に活動を知ってもらうことができました。

11月11日(日) 喜楽座映画上映50周年記念映画会(於:岡田まちづくりセンター)

当初、芝居小屋であった喜楽座が時代の流れで、昭和30年代には映画館に変わりました。今年、喜楽座で映画を上映して50年を迎えたのを機に、記念映画会を開催しました。映画は今亡き、石原裕次郎主演の“嵐を呼ぶ男”でした。市民に呼びかけを行ったところ、杖をついてくる高齢者もあり、会場は超満員でした。映画の上映に合わせ、“岡田ゆめみたい”では、同じフロアの1室を借り、喜楽座にかかわるものを集め、「喜楽座の思い出展」を開催し、映画会を盛り上げました。映画会の主催者は「岡田ゆめみたい」の60歳代の会員で今後の活動の力強い担いが増えました。

11月17日(土) 生きるよろこび展

～25日(日) JOY OF LIFE2018(平成30年

度障害者芸術文化活動普及支援事業)

まちじゅうアール・ブリュット
Vol.2(岡田の古民家5か所で展開)

※古民家を散策しながらアール・ブリュットを感じる時間

・小学生による子供の街並みガイドや子供食堂も実施、好評だった。

12月8日(土) 市民学習講座“まちづくりと若者の取り組み”於:知多市市民活動センター

主催:知多市民をつなぐ Lik ちた
30歳代 OKD 代表と私の取り組みの講演会

優れた効果・成果があがった点

- ・地域で活動しているグループ等とのコラボレーション企画ができた。
- ・岡田コミュニティの理解も得られるようになり地域での認知度が高まった。
- ・イベントを通じて“岡田ゆめみたい”の活動が一般の人にも知られるようになった。
- ・岡田をこよなく愛する若者のグループ OKD を知り、ツアーに参加したことによって、つながりができた。
- ・60代の地元で不動産業をしている人とのコラボレーションができた。

委嘱期間終了後の今後の展望

岡田には数多くの眠っている財産があります。今後も学校とのかかわりを持ち、若者の視線でそれらを発掘し、協働しながら地域の活性化を図っていきたいと思います。